

# いちご新規参入の経営試算

## 1. 試験のねらい

近年、非農家から農業に参入する事例が増えており、特に本県の主要品目であるいちご栽培を選択するの割合が最も高くなっている。

しかし、農外から就農する場合、農地確保や技術習得等の面で、農業後継者と比べハンディキャップが大きく、就農を断念するケースや、経営が軌道に乗るまで時間を要するケースも散見される。

そこで、新規参入でいちご栽培を始めた生産者の事例調査と過去の就農計画を分析し、これからいちごで新規参入を考える際に参考となる経営試算を明らかにする。

## 2. 試験方法

- (1) 調査対象 いちご新規参入者6戸を対象として調査した。
- (2) 調査方法 個別農家への聞き取り及び、過去の就農計画を分析した。
- (3) 調査項目 新規参入する際に留意するポイント、新規参入時の平均的な経営規模、参入時に必要な資金額等について、聞き取りと分析を行った。

## 3. 試験結果および考察

- (1) いちご新規参入者の聞き取りをもとに、就農までのステップを「就農相談期」、「就農準備期」、「就農後」に分け、時期別スケジュールを概略で示した。また、資金、栽培技術、農地等の項目ごとのチェックポイントを整理した（データ省略）。
- (2) いちご新規参入の標準的な経営モデルである栽培規模20aで試算した場合、パイプハウス690万円を含め、設備投資費用として約1,360万円、さらに1年目の資材を加えると、合計で約1,460万円が必要なことが明らかとなった（表-1）。
- (3) 認定就農者になり、一定条件をクリアすれば、1,460万円を就農支援資金で充てることができる。ただし、投資資金全額を就農支援資金で調達した場合でも、手持ち現金が約600万円ないと、栽培1年目の途中で資金が不足する可能性が高いことが明らかとなった（表-2）。
- (4) 経営試算のほか、「就農までのチェックポイント」、「調査先の農家からこれから就農を考える人へのアドバイス」を含め、いちごの新規参入に関する参考資料をまとめ、いちご研究所のホームページで公開した。

## 4. 成果の要約

イチゴ新規参入の標準的な経営モデルは栽培規模20aで、必要な初期投資額は約1,460万円である。投資資金は一定条件をクリアすることで、就農支援資金により手当てできるが、研修期間と定植から収穫が始まるまでの期間の生活費、約600万円は自己資金として用意しておく必要がある。

(担当者 いちご研究所 企画調査担当 米倉禎都志)

表－1 いちご新規参入の初期投資等の試算

パイプハウス 8棟 20a  
 育苗用ハウス 1棟 3a  
 農地は賃借 井戸、電気を自費で整備  
 予冷库、作業舎を整備  
 軽トラック、小農具は購入 トラクターは賃借

## ○設備投資費用

品名	数量	金額(円)	仕訳先
パイプハウス(かん水、ウォーターカニ込)	20a	6,000,000	減価償却費(10年)
育苗用パイプハウス	3a	900,000	減価償却費(10年)
井戸の掘削、配管*	一式	2,500,000	減価償却費(14年)
電気工事	一式	500,000	減価償却費(7年)
予冷库(1.5坪)	1台	500,000	減価償却費(7年)
作業舎		1,000,000	減価償却費(7年)
軽トラック	1台	800,000	減価償却費(4年)
動力噴霧機	1台	300,000	減価償却費(7年)
畦立機	1台	300,000	減価償却費(7年)
硫黄くん蒸器	16台	560,000	農具費
収穫用コンテナ、台車、ラップ機	一式	285,000	農具費
初期投資額の合計		13,645,000	

\*井戸の掘削、配管は条件差が大き(調査事例では100~400万円)ため、6戸の平均値を使用した

## ○1年目の資材等の経費

品名	数量	金額(円)	仕訳先
定植苗の親株	500本	60,000	種苗費
肥料代		200,000	肥料費
農業代		300,000	農業費
定植苗育苗用土	120袋	72,000	諸材料費
ミツバチレンタル	4箱	112,000	諸材料費
外張りビニル、マルチ等		216,000	諸材料費
1年目の資材等の合計		960,000	

必要資金総額 = 初期投資額の合計(A) + 1年目の資材等の合計(B) 14,605,000 円

A+B

表－2 手持ち現金600万円、資金1,460万円を借り入れた場合の資金フロー

単位：円

項目		0年目 #1	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
期首現金 #2	A	6,000,000	3,750,000	888,200	2,021,800	2,141,900	2,580,000
借入金 #3	B	0	14,605,000	0	0	0	0
いちご所得	C	0	-1,901,800	2,693,600	3,140,600	3,438,600	4,044,600
減価償却積立	D	0	1,080,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,280,000
1年目経費分戻し	E		960,000				
施設整備費用	F	0	14,605,000	0	0	0	0
生活費	G	2,250,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
借入金返済 #4	H	0	0	0	1,460,500	1,460,500	1,460,500
期末現金 #5	J	3,750,000	888,200	2,021,800	2,141,900	2,580,000	3,434,100

注 #1 0年目とは研修期間中(4~12月)の無収入期間を想定 #2 手持現金を600万円とする

#3 就農1年目に施設整備、作業庫、機械等の購入費1,460万円全額を資金借入 #4 資金は据置2年で以後10年間で均等返済

#5 J=(A+B+C+D+E)-(F+G+H)